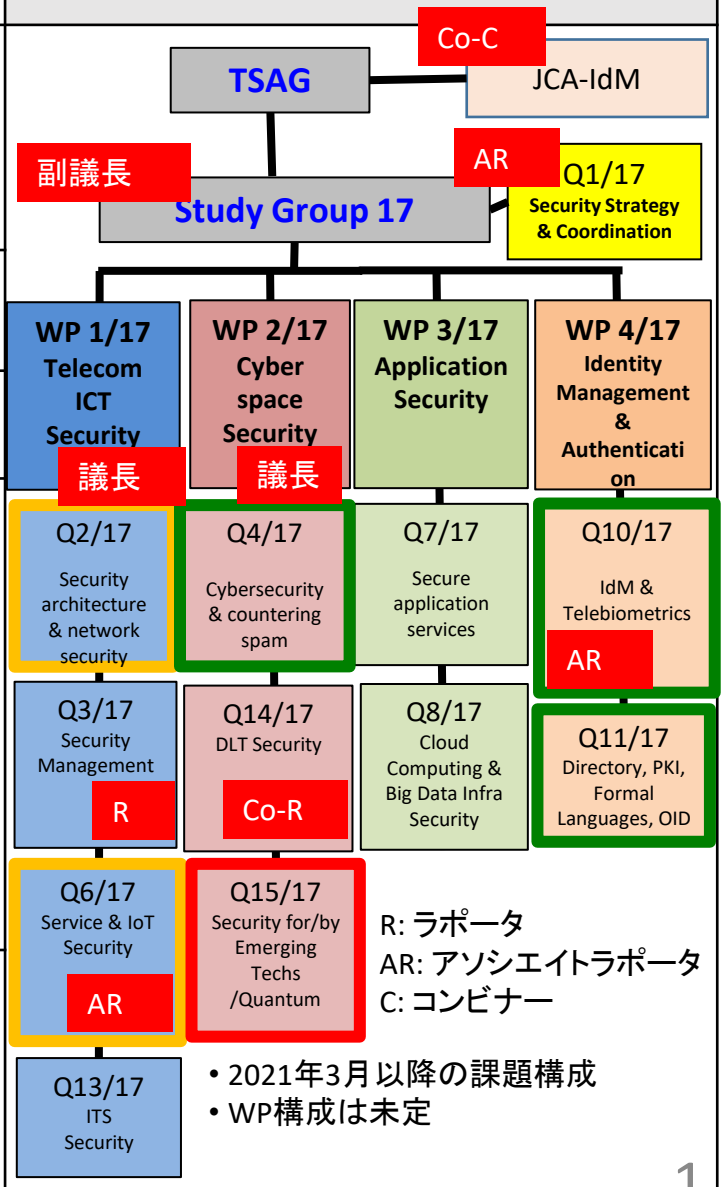
中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名	セキュリティ	1/3

企画戦略委員	樽屋　克彦（日立）	登録委員数	33人（1グループ）12社
正副委員長 リーダー・サブ	委員長　三宅　優（KDDI）、副委員長　森村　一雄（NTT）	図解	
活動の目的・意義	• 目的：電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みの中で、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行。 • 意義：電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス、等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用と日本の技術の展開に向けた取り組みを実施可能。		
活動する上での課題	• 5G、Beyond 5G/6G、クラウド・仮想化、等の新プラットフォームや、量子、AI技術等の発展により、新たなサービスの展開が急速に進み、これに伴うセキュリティ上の問題対する新たな取り組みが必要。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	• ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、ITSセキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5Gセキュリティ（インフラセキュリティを含む）、ID管理、DLTセキュリティ、量子暗号通信（QKD）の活動に対して寄書等により貢献。 • CJKセキュリティWGでの活動を通じて、検討中の案件の調整や新規案件の対応について協議を行い、アジア関係諸国と連携した標準化の取り組みを推進。また、5Gセキュリティについては、5GMFのセキュリティ調査研究委員会、ITSセキュリティについては、3J（自技会、自工会、JASPAR）との連携を推進。 • 他の分野と連携が必要な項目については、該当する専門委員会と引き続き情報交換を行いながら検討を実施。具体的には、IoTセキュリティ（oneM2M、IoT/SC）、ITSセキュリティ（マルチメディア、コネクテッドカー）、DLTセキュリティ（マルチメディア）、等が対象。		
国内外 標準化団体動向	• ITU-T SG17は、2021年3月会合より課題構成が変更される。5Gセキュリティの整理（課題2，課題6）、課題のマージ（課題4/5、課題9/10、課題11/12）、新規課題設立（課題15）が変更点。 • 5Gセキュリティについては、SG17において各標準化団体等の活動を整理したロードマップを作成中で、ITU-Tとして実施すべきことを明確化して、取り組みを強化する方向で推進中。		



中期標準化戦略（2020年度重点取り組みと活動報告）

専門委員会・AG名	セキュリティ	2/3

重点取り組みと成果	• IoT、ITS、DLT、5G、ID認証、情報セキュリティマネジメント、QKD、クラウド等の今後展開が加速すると考えられる分野に対して、5G関連寄書1件、ITS関連寄書3件、情報セキュリティマネジメント関連に4件、QKD関連に10件、クラウド関連に1件の寄書を提出。 • SG17の取り組みの活性化と新規案件への対応を目的として課題構成とマンデート修正に関する3件の寄書を提出し、採用。 • IoT・スマートシティ専門委員会、コネクテッド・カー専門委員会、Network Vision専門委員会等、他の専門委員会、及び、外部の活動との連携を実施した。ITSに関するソフトウェア更新の勧告（X.1373）の改定作業については、コネクテッド・カー専門委員会の仲介により3J（自技会、自工会、JASPAR）と連携し、自動車業界側のコメントを反映した寄書を提出。

主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	• 12件（SG17　2020年3月会合） • 10件（SG17　2020年8～9月会合）	
	外部会合への参加・連携状況	・CJK Information Security WG：2020年7月会合（韓国） ・SG17：　2020年8月会合 ・CJK Information Security WG：2021年1月会合（中国） ・SG17：　2021年3月会合	• 2回予定されていたCJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため中止。 • 2020年3月のSG17会合は、28名のリモート参加。 • 2020年8～9月のSG会合は、30名のリモート参加。	
② ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 ・サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 • 2020年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件 ・X.1373（X.itssec-1）については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化検討する。 X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices	1件 • ITU-T X.1710（Security framework for quantum key distribution networks）をJT-X1710としてTTC標準化。 • X.1373（X.itssec-1）は、改訂作業中。	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナ開催（2020/2Q）	• 3月に5Gセキュリティのセミナーを実施予定であったがコロナ禍で中止。 • 10月にIETF、W3C共催TTCオンラインセミナー「電子商取引における最新の セキュリティ関連動向」の開催に協力。	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、他	• ITU-T SG17　第7回会合に関して結果報告。（TTCレポート2020年7月号）	

中期標準化戦略（2021年度重点取り組みと活動予定）

専門委員会・AG名	セキュリティ	3/3

新テーマ及び重点取り組み	• 他の標準化団体の動向を含む5Gセキュリティ標準化ロードマップの作成に貢献し、ITU-Tとして実施すべき項目を明確化するともに、この結果に対応した新ワークアイテムの提案を実施 • ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J（自技会、自工会、JASPAR）と連携し、X.1373改訂作業に加えて他の勧告やワークアイテムにおいても日本の自動車業界の意見を反映した提案を行うための取り組みを開始 • 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、CDC (Cyber Defence Center) 、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献（QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携）
関連する専門委員会とその内容	• コネクテッド・カー専門委員会：X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 • Network Vision専門委員会：QKDに関わる勧告作成 • IoT・スマートシティ専門委員会：IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い

主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	・各SG17会合で10件程度	-	
	外部会合への 参加・連携状況	• SG17会合（2021年4月、8～9月） • CJK Information Security WG会合（次期未定）		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 • サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 • X.framcdc（Framework for the creation and operation of a cyber defence center） • X.1373（X.itssec-1）については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化検討する。（X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices）	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	• セキュリティに関するセミナ開催（2021/2Q）		
	記事投稿、講演会	• TTCレポート活動報告、他		